

日语阅读:《安妮日记》PDF转换可能丢失图片或格式，建议
阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/213/2021_2022__E6_97_A5_E8_AF_AD_E9_98_85_E8_c105_213591.htm 背景资料：《安妮日记》是荷兰籍犹太少女安妮弗兰克在二战中遗留下来的一部个人日记，它真实地记述了她与家人以及另两个犹太家庭为逃避纳粹迫害而度过的长达两年的隐蔽生活。安妮从13岁生日写起，一直写到1944年8月4日他们的隐居地被德国党卫军查抄后不久。这个不到16岁就被纳粹夺去了生命的孩子的日记在战后成为人们对那场人类梦魇进行深刻反思的珍贵教材。今天，由65种语言出版的《安妮日记》已售出3000万册。安妮故居也成为各国游客访问阿姆斯特丹时必去的地方之一。「アンネの日」のアンネ?フランクの父が第二次大の初期にいた手が米国でつかった。米への移住ビザの仲介を知人にんだ数通で、先ごろ公表された。近日在美国发现《安妮日记》作者安妮弗兰克的父亲在第二次世界大战初期写的书信。最近公开的几封信的内容是拜托熟人帮助办理美国移民护照。移住の理由を、父は「2人の娘のために」とつつづいている。だが局ビザは得られず、一家はナチスに捕らえられ容所に送られる。多感な日をつづった次女アンネは、酷な日々の果てに15で息をひきとった。移民理由、她父亲写的是“为了两个女儿”。可是最后没有申请到护照，一家人被纳粹逮捕，关进了集中营。写下了多情多感日记的二女儿，在那段不堪回首的日子中死去，年仅15岁。息を引き取る息がえる。死ぬ。手の公表の、明役の史学者は「(もしビザが出ていれば)アンネはいま、ボストンに住む7

7の女性であったかもしれない」とったそうだ。悲しい名を残さず、人が平凡に生きられる。その重みに思いを寄せた言だろう。据说书信被公开时，担任讲解的历史学家曾说：“（如果护照申请下来的话）安妮现在也许是住在波士顿的一位77岁老太婆”。她就不会留下悲剧性的名字，而过着普通人一样平凡的生活。他的话表达了这样一种重要含义。

おも-み [0] 「重み」（1）重いこと。重さ。「雪の一で枝が折れた」（2）どっしりとした落ち着きや堂々たる威。祿。「重役らしい—をえる」（3）重大さ。重要さ。「真の一」 思いを寄せるあるものに心を持つ。特に、性に恋感情をいだく。思い起こすのは、同じ大初期にリトアニア事代理だった杉原千（ちうね）のことだ。迫害におびえる多くのユダヤ人に、日本を由して第三国へけられるビザを出した。外省はドイツとのに配して不可を指示したが、杉原はビザを出しけた。想起同是二次世界大战初期时的立陶宛代理领事杉原千（哇）的事。他发放许多日本护照给担心纳粹迫害的犹太人，帮助他们经由日本逃往第三国。外务省担心影响与德国的关系曾指示禁止发放，但是衫原仍继续发放。 おび?える [0][3] 「怯える?える」（ア下—）怖がってびくびくする。また，恐ろしくて声をたてる。「—?えたような目つき」 はっ-きゅう [0] 「」（名）スル行して付すること。出して与えること。「ビザを—する」その「命のビザ」の物を、京の（どら）は15年にわたり上演してきた。9年前のニューヨーク公演で「スギハラに救われた」という女性が名り出た。を郊外の自宅に招き、古びたビザをせて、来し方をつた。这个“救命护照”故事东京铜锣剧

团一直演出了15年。9年前在纽约公演时，一位女性说出“自己就是被杉原先生救出的”。她邀请剧团团员到郊外的家里，给他们看泛旧的护照，讲述了那段过去。ふるびる「古びる」（自上一）古くなって、往年のやいだ美しさが失われる。「古びた家」ビザを受けたとき、アンネの享年と同じ15だった。と2人でシベリア道をとて敦に着き、横浜から船で米に逃れたという。後に米国人と婚し、5人ののいる静かな暮らしを送っていた。この人とアンネの命は、入れ替わる可能性もあっただろう。名もない人生をけることの幸せを思う。她领到护照时与安妮同岁，都是15岁。据说当时她与姐姐两人经过西伯利亚铁路到达敦贺，在横浜乘船逃到美国。战后与美国人结婚，现在有5个孙子，过着平静的生活。她与安妮的命运也有可能互换。能构筑平凡人的生活感觉很幸福。いれかわる「入れ替る」〔自五〕前のものにとってかわる。交替する。いりかわる。「番が—?る」「席を—?る」 きょう-ねん [0]「享年」〔天から享（ウ）けた年の意〕人の生きていた年数。死んだときの年.行年（ギョウネン）。「一六五」100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com